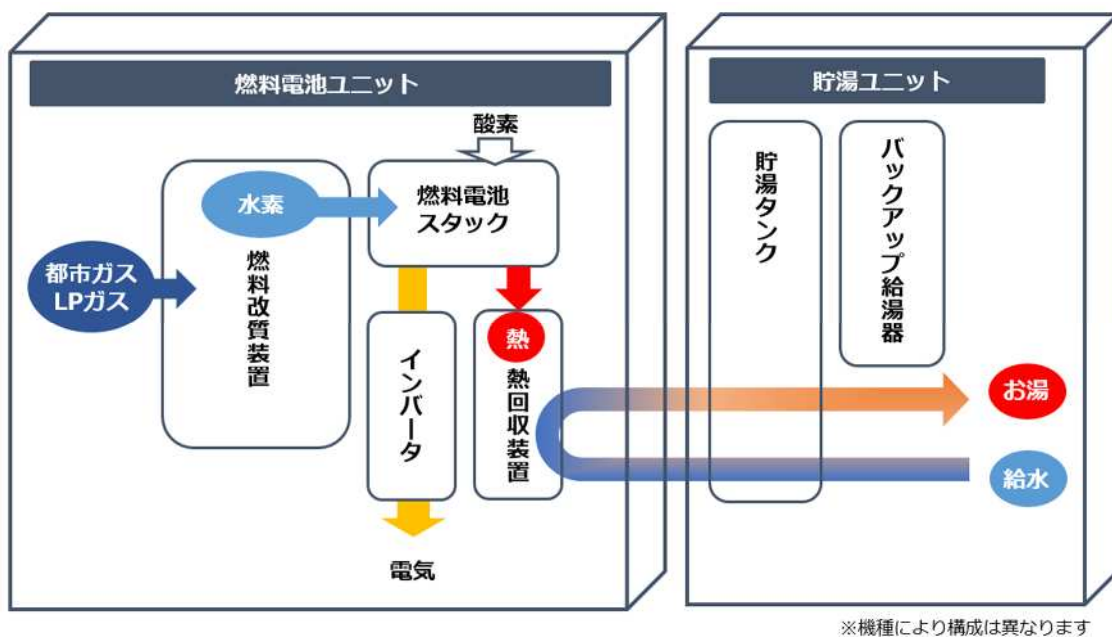


家庭用燃料電池システム（エネファーム）とは

家庭用燃料電池システム（エネファーム）とは、都市ガスやLPガス（プロパンガス）から取り出した水素と空気中の酸素を化学反応させて発電するシステムです。化学反応の過程で発生する熱は、お湯を沸かすために使われ、給湯や暖房などに活用されます。

エネルギーの無駄遣いを抑えることができるため、地球温暖化の原因である二酸化炭素を削減し、エネルギー効率の向上が期待できます。



出典：資源エネルギー庁

【エネファームとエコキュートの違い】

機能等/機器	エネファーム	エコキュート
発電機能	あり	なし
給湯機能	あり	あり
停電時の利用	可能	可能（※1）
初期費用	高価	安価

※1 利用できる機能が制限される場合があります。

エネファームは設置する場合の初期費用が、エコキュートと比較すると高価ですが、災害時などにおいてはメリットが大きいです。

市では、自宅にエネファームを設置する方に対し、**10万円**を補助します。